

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担当しているため、キリスト教学Ⅰの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加も評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルの感想を評価に入れ、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。</p> <p>③後半で行うグループ発表の機会は、学生の関心にあわせて展開し、様々な角度からキリスト教について学びあう事ができた。</p> <p>④学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、2年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのが良く見えるようになった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>授業評価アンケートの結果より、自分なりの目標を達成した、に関しては4ポイントであった。到達度の自己評価の平均値は(4.0)。トータル成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約85%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えます。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標が達成されたと言えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ⅰ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、昨年同様学生たちが意欲的に取り組み、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についての平均値は(4.2)であった。数年前より、チャペルポートフォリオを導入したことは、チャペル出席へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をとおして3分の2の出席を必要としている。キリスト教学がない2年生前期のチャペル出席についてもチャペルポートフォリオを導入し、遠隔であっても出席を促すことができた。</p> <p>本講義は、キリスト教に興味関心のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.2であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。また、「ナルニア国ものがたり」を中心に聖書の解き明かしをする本講義については、学生のコメントにあるように、興味関心を持ちつつ学ぶことができているため、引き続き内容を深めていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学Ⅰを発展的に展開していく上で、Ⅰでの学びが重要である。Ⅰの復習もⅡでの講義に加えつつ、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席に加え、チャペルポートフォリオを導入し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、考察する時間を設けた。今後は、卒業後も聖書を自ら読めるように促す工夫をしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
スポーツ実技	1	通年	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生（通年）であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は93.3点（S-23、A-8）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「一般教育科目」における「女性と健康」に位置づけられており、資格取得に必要である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が1年間の体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけではなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。運動の記録を取るよう指導したが、体重や体脂肪率なども測定できる環境が整うのであれば、もっと詳しく自己の体を知ることができると思う。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目ではあるが、保育士資格を目指すものにとって日本国憲法は必修である。</p> <p>今回の受講動機をみても「必修科目である」80.0%と学生の8割以上がそのことを認識している。一方で「関心のある内容である」が23.3%であり、ほとんどの学生にとっては日本国憲法自体が関心のない科目であるという事実が表れている。そうしたことも踏まえ、初回の授業では保育士待遇が憲法違反であることを訴えた高校生たちの事例から、日々の生活環境の改善を考える上で憲法を学ぶ意義があることを説明した。さらにアクティブラーニングとして映像を使った模擬裁判を行い、グループで討論させて意見をまとめさせた。</p> <p>②法律関係の専門用語が多く、講義を一度聞くだけで理解することが困難な科目である。学習・理解の定着を目指すため、毎回配布するレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を出題した。</p> <p>③「裁判員制度」に関わる重要な制度である「死刑制度」について、廃止論、継続論それぞれの主張を紹介し、学生たち自身にも制度の賛否について意見を記述させた。</p> <p>④映像授業として、裁判員制度の広報映像を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。さらに模擬裁判を行うための資料映像を使用し学生たちのグループ討論を行う際の参考とした。模擬裁判では各グループに判決用紙を配布し、各グループの判決をどうするか討論を行い、その判決にした理由も協力して書いてもらった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>2023年度の受講者の中で成績不良が原因で単位を落とした学生はいなかった。学生の到達度自己評価に関するアンケートでは、10項目中8項目の平均値が3.9以上であり、知識理解に関しては平均値4.4、意欲関心に関しては平均値3.8と高い数値が表れており、本科目DP項目は十分達成されたと言える。「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の項目は平均値3.8であった。前年度に引き続き行っている模擬裁判等のアクティブラーニングの効果が表れているといえる。</p> <p>学習量の評価としては、授業前の準備、および授業後の復習に30分程度の学習をしたと回答した学生の割合が半数以上であった。本講義はテキストを使用しないため、こちらから何か指定しない限りは学生側が予習をする必要がなく、そのことが数値に表れていた。次年度は事前のインターネット検索の指示を行うなどして、授業外の学習を行う時間の確保に向けた対策を行っていく。復習に関しては毎回のレジュメの最後にある「今日のまとめ」について、学生に各自翌週までに記述してくるよう指導していく。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1、DP3に関わるものである。本学の保育科の教育目的の一つが豊かな教養と専門知識をもった保育の専門家の育成であるが、本科目はその教育目的からみても内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 知識理解に関する達成度は、到達度自己評価の平均値がいずれも3.9以上であり、学生たちの成績も一定以上であったことから、内容的にも十分妥当であったと考ええる。 意欲関心に関する達成度では、到達度自己評価において「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の質問に受講者30名全員が肯定的評価をしていた。授業開講時の受講動機で日本国憲法について「関心のある内容である」と答えた学生が30名中7名であったことを考えると、授業を通して本科目に関心を持った学生が大幅に増加したといえる。</p> <p>③まとめ 以上から、本科目の位置づけからみた内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、今年度はいずれの項目も平均値は4.2以上であり、前年度の平均値4.1より若干上昇した。これは数年前から行っている映像授業から自分の意見を記述するレポート、模擬裁判によるアクティブラーニング等の学生の関心を高めるための様々な試みが、前年度に引き続き効果が表れていると考えられる。 今年度の課題としてレポート内容の充実化が挙げられる。学生側の提出するレポート課題については内容以前に、レポート・論文を書く上での基礎的な形式・構成が十分でない学生の割合が年々増加している。近年の学生は、短文でやり取りするSNSに慣れ親しんでいるため、論文のような長文を読み書きする機会が少ないことが原因の1つとして挙げられる。これらの課題の対策として今年度からは初回の授業において、「レポート・論文の書き方」という表題で、レポート・論文の基礎知識の講義を行う予定である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今年度は再試験対象の学生もなく、知識理解といった学生の到達度自己評価の平均値、授業の質評価についても例年に引き続き、高い数値が得られた。課題としては予習ならびに復習時間の向上が挙げられる。この点に関しては、次回の授業に該当する部分のインターネット検索の指示を行う予定である。また前年度に引き続き、毎回配布するレジュメの「今日のまとめ」を宿題形式として自宅で記述させる、模擬裁判のグループ討論を授業内だけでなく次週までの課題として出す、といった方針も行っていく予定である。さらにレポート内容の向上のため、初回の授業において、「レポート・論文の書き方」という表題で、レポート・論文の基礎知識の講義を行う予定である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会福祉	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、「資格取得に必要である」90.5%と高い数値となっており、受講生の多くは保育士資格の取得を目指す学生である。授業の実施に当たっては、社会福祉が私たちの生活に密接にかかわるものであることへの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意識の向上と学習状況の把握につとめた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均80.9点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.2点（かなりそうだと思う38.1%、わりにそうだと思う47.6%、まあまあそうだと思う14.3%）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「(2) 知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.4点、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.2点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.1点であるため、目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、意欲関心の観点での自己評価についても、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから内容的妥当性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、双方向でのやり取りを意識的に行い、学習環境の質の向上に努めた。また、継続的な取り組みではあるが、予習プリントの配布や單元ごとの小テストを行い学習準備性の向上にも努めた。「授業の質の評価」に関する全ての項目において肯定的な評価を得ることができたのも、このような取り組みによるところが大きいのではないかと考える。その一方で、学生の学習量に関して、授業課題以外の取り組みを行っていない学生が半数程度いること、多くの学生の図書館やインターネットの活用にまで至っていないことなどの課題を残す結果であった。今後は、これらの課題改善に向けた工夫や取り組みを行っていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標は達成できたと考える。今年度も、配布資料の改善をはじめ情報提示の方法の見直し、学生が質問しやすい環境づくりなどを行うことで、学生の授業理解を促すよう努めた。今後も教育内容の質の担保、向上を目指して工夫をし、改善に努めていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育相談とカウンセリング	2	後期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、幼稚園教諭免許の必修科目であるためであり、科目へのモチベーションというよりは、保育職へのモチベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての専門知識を背景として、事例について考える時間をできるだけ多く取るようにしている。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価平均値は例年と同等の値となっていることから、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価の各項目からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

この科目に関するDPの項目である思考判断に対応するアンケートの自己評価項目は、「(4)さまざまな課題を検討する力を得ることができた」と「(5)的確に判断する力を得ることができた」であるが、平均値はどちらも十分に高いといえる。学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生からの提出課題で、理解度を確認しながら授業を進めた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の計画と評価（教育課程含む）	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の初めに「計画」と「評価」について説明し、「計画」と「評価」の関係性について理解を促した。自身の保育を評価し、その後保育を改善し、保育の質を向上を図るには、「計画」に基づいて行うことの必要性和共に、カリキュラムマネジメントについて理解しておくことの重要性を話した。また、それが保育者の役割であることも伝えた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムの種類（指導要領、年間指導計画、月の指導計画、週案、日案など）の繋がりを伝え、どれをとっても外すことができないことを話した。実際に実習で行った「指導計画(案)」の作成や部分実習後の評価・反省などと結びつけて考えることで、より理解が深まったことと思われる。ただ、授業で使用したテキストだけでなく、幅広く図書館や、インターネットを活用した情報利用も必要であることも語った。が、短大で、自主的な学習を要求するのは難しい面もあると思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習評価について、学習態度は非常に真面目で、集中力の高い姿が見られた。また、授業後半にカリキュラムを立てる課題では、授業内で学んだことをフルに活用し、教員が説明した「配慮事項」や「援助」の必要性なども盛り込んでおり、個人差はあるものの全体的に学習到達度はやや高かったと評価している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生からの質問に応じて、その回答から授業を進めていきたいと考えていたが、なかなか積極的な質問は受けられなかった。机間学習も試みて、カリキュラムを立てる時間には個別に質問に応じることも行った。また、学生からの質問が全体的に

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

十分とは言えなかったと思うが、学生たちが保育現場に出た時に、自身の保育を「計画」し、「評価」する考え方の道筋の力になったかと思われる。また、その力が保育現場で発揮されることを願っている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	金田 孝一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
特別支援教育論（障がい児保育含む）	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業では、特別支援教育や障がい児保育に関する【知識・理解】（DP1）や、特別の支援を必要とする子どもへの適切な支援方法への【思考・判断】（DP2）だけでなく、保育者・教育者としての見方・考え方、生き方を意識する【態度】（DP4）も意図した。</p> <p>学生の〔受講動機〕は、関心のある内容（28.6%）というより、資格取得のため（82.1%）にある。履修への内発的な動機づけの低いことが予測される。</p> <p>そこで、初回授業では「何のために、特別支援教育論（障がい児保育）を学ぶのか」という問いかけから始め、課題意識をもつように促した。</p> <p>昨年度と同様、毎時間、レジュメ（裏面は学習確認の作業シート）、パワーポイントの概要資料、参考資料を配布し、学生が授業の構成や内容を把握できるようにした。また、小テストの他、予習課題の配布（提出）やグループワークの実施（提出）を行い、フィードバックを通して授業の内容を理解できるようにした。</p> <p>本年度の改善として、毎回のレジュメに授業の〈めあて〉を明示し、最初に学習の見通しが持てるようにすること、授業の最後にまとめ（評価）を示し、学習の振り返りができるようにすることを試みた。</p> <p>なお、各授業では、実務家教員としての各障害等への指導経験や行政経験等を生かし、学生がイメージできる具体的事例を示すようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		達成された	達成された	達成された		達成された

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の成績は、全員が標準レベルに達していた。そのうち半数（49%）の学生が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生の〔到達度自己評価〕では、【知識・技能】2項目の平均値が4.7と4.5（中央値は、いずれも5.0）、【思考・判断】2項目の平均値が4.4と4.3（中央値は、いずれも4.0）であった。目標達成が高いレベルでできたと、学生自身も意識していることがうかがえる。</p> <p>最後の授業では、「学んだ内容から今後に生かしたいこと」などの、振り返りをした。自由記述を段階別に整理すると、本科目で意図する「障害のある子どもを意識するレベル」での記述（学生の44.4%）だけではなく、「障害の有無にかかわらず全ての子どもを意識するレベル」での記述（同22.2%）があった。さらに「保育を行う私達にとって『多様性の尊重』というのは非常に大切なこと」「学びを深めていくうちに『私に何ができるのだろうか』と考えが深まった」「（この授業で学んだことは）一人の人としても大切なこと」「卒業後、保育者としてだけでなく一人の人間として、障害の有無にかかわらず、素直に他者の個性を見つけ認められる自分でありたいと、講義を通して強く感じるようになった」「今後は、同じ人間として一人一人を尊重する意識をもった行動を心掛けたい」など、「保育者としてのあり方や自らの生き方を意識するレベル」での記述（同33.3%）があった。</p> <p>学生の〔到達度自己評価〕から「職業選択の参考になった」項目の平均値が4.4（中央値4.5）であり、「生き方を意識する」授業の意図に迫ることができたと考える。</p> <p>さらに「学びを深めたい意欲」項目の平均値が4.3（中央値4.5）であり、多様な子どもの保育のあり方について関心・意欲の高まった学生もいると考える。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>○CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性</p> <p>本科目は、保育者としての基礎知識・基礎技術を身につける基礎段階（1年次）の専門教育科目である。授業の内容は、専門教育科目（障がい児保育演習等）や実習（施設実習等）など、専門分野の知識・技能を身につける応用段階（2年次）につながる基盤となる。</p> <p>学生の目標達成の欄に記載したように、授業を通して「職業選択への意識」「学びを深めたい意欲」の高まりがうかがえる。例えば学生の授業感想には、「私は障がいや特別支援についてあまり興味がなかったのですが、この授業を通してもっと知りたいと思うようになりました。そこで、2年次の施設実習では発達支援センターに行くことを決めました。実際に自分の目で勉強したことを確かめ、新たに発見できるものがあれば、この授業をしっかりと学べていた証拠にも繋がると感じます」との記述もあった。</p> <p>カリキュラムマップ上の位置づけからみて、本科目は内容的に妥当であったと考える。</p> <p>○DP、行動目標からみての内容的妥当性</p> <p>学生の目標達成の欄に記載したように、学生の目標達成レベルのみならず、〔到達度自己評価〕による【知識・理解】【知識・理解】、さらに保育者としての意識【態度】も含め、比較的高い達成状況にある。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業前には、テキストに拠る予習課題（8回）、市町村等のホームページから調べる予習課題（2回）を指示し、学習内容を意識するようにした。また、授業中はグループワーク（10回）での話し合いを行い、発表へのコメントをした。</p> <p>学生による〔授業の質評価〕5項目の平均値は4.54（中央値は、いずれも5.0）であった。特に「授業中に意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会」の項目の平均値は4.7であり、学生の評価は高い。また、独自に実施した授業改善アンケート（自由記述）にも、改善点の記述や要望はなかった。</p> <p>以上から、授業の進め方に、大きな改善点はないと考える。</p> <p>なお、市町村等のホームページから調べてまとめる予習課題（2回）については、検索方法を具体的に指示した。しかし〔図書館等利用〕では「インターネットのホームページの検索・利用をした」学生が64.3%にとどまった。そこで、インターネットで検索しまとめた場合は出典を明記するように改めて指示し、〔図書館利用等〕を意識するようにしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目の授業を通して、特別支援教育や障がい児保育に関する知識・理解や、適切な支援方法の思考・判断だけでなく、保育者・教育者としての見方・考え方、さらに自分の生き方で意識する学生がいたことは評価できる。また、学生の目標は一定レベルで達成できている。</p> <p>本年度の授業は、基礎段階（1年次）の専門教育科目として適切であったと、総括的に評価できる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得の必修科目であることを踏まえ、テキストや参考文献、またDVDを用いて伝えるべき内容を網羅すべくシラバスに従って授業を進めた。 これまで3歳未満児と関わった経験がない学生が多かったため、実務家教員の特性を生かして守秘義務に配慮しながら保育現場をイメージしやすいように写真や動画を活用したり、事例を説明したりすることで理解を促していった。 講義主体の授業だが、初めて保育所実習に出ることを視野に、実際に保育人形を使って着替えやおむつ交換の演習、またふれあい遊びやわらべうたなどの実技も取り入れて授業を行った。 昨年度の授業の改善点を考慮して学生の主体的な学びができるように、現場で役立つと思われる事例をもとに、子どもとの関わり方やその関わり意図などについて考えるグループワークを組み入れ、双方向の授業を心掛けた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通しての成績は83.5 (±3.3) であった。総合評価としては多くの学生が秀や優の理想レベルの評価であった。 しかし定期テストでは、5名の学生が60点台の得点であった。知識理解について授業内容の理解を促す個別対応の工夫も必要である。 講義主体の授業であったが、実習に出るために着替え、おむつ替えといった演習も取り入れた。学生は積極的に参加して要領を覚えることができた。また乳幼児の発達を促す手遊びやふれあい遊び、わらべうたなどについても演習の経験を通して実践に活かすことができたと思われる。 次回の授業の内容をテキストの箇所等で伝えていたが、「何をすればよいのか分からなかった」「時間がなかった」等の回答があり、ほとんど予習をしている様子がなかった。また授業の課題以外の学習に取り組んでいない理由に「授業の内容で十分だった」とあったが、自学自習することでより理解が深まることを伝え、学習準備の仕方を具体的に説明する必要がある。 授業に関する質疑応答の時間を設けていたが学生の反応が少なかった。またグループワークの機会を設けたが自主的な発言は少なかった。しかし指名するとの確かな答えが返ってきた。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格取得を希望しており、前向きに授業に臨んでいた。

・実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行うことで、多くの学生の知識理解が深まったと思われる。

・「自由記述」では「分かりやすく多くのことを学ぶことができた」との感想があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる、学生の思考判断力の獲得に寄与することができたと思われる。

・以上より、内容的妥当性に問題はないと思われるが、学生の主体的な学びを促すために授業内容の改善が必要である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・これまで3歳未満児との関わりがほとんどない学生に対して、実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行ったが、特に法令や保育指針等の内容を説明するときに、学生の学習意欲が落ちている印象があった。現場での事例をはさみながら画像等も利用した講義や遊びの演習などは高い関心を示して受講することができていたため、分かりやすい事例を組み入れたり、途中で手遊びを盛り込むなどしながら、必要な内容はもれなく学習できるようにしていく。法令や保育指針、倫理綱領等に関しても、その内容の理解を促す工夫をしていきたい。

・「自由記述」では「乳児保育について学び、保育実習に向けてどのようなことに力を入れていけばよいのか、講義を通して明確な目標を持つことができた」との意見があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる。

・しかし、学生の主体的な学びが保障できるように、質疑応答の時間を充実させたり、事例検討などのグループワークの内容を改善していく必要がある。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

・ほとんどの学生は、授業内容を理解して学んだことを実習等で生かそうとしていた。しかし講義での説明が続くと居眠りする学生も出てくるため、興味・関心が持てるような事例の説明や遊びの演習等を盛り込んだ授業を工夫し、学生の主体的な学びと理解を促すようにしていきたい。また予習の必要性についても理解を促していくように心がけたい。

・学生の思考判断という観点からは目標は達成されたと思われるが、学生の知識理解という観点からは、学生の主体的な学びを促すために上記のように授業内容の改善が必要である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、資格取得を目指す多くの学生が受講している。授業実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる基本的な知識の獲得を目指すとともに、事例検討の機会を多く取り入れ、授業での学びをできるだけ実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、小テスト、レポート、レポート外提出物（主に授業で作成したノート）、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均80.7点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.0点（かなりそうだと思う32.4%、わりにそうだと思う37.8%、まあまあそうだと思う27.0%）であり、目標は達成されたと考える。「思考判断」については、「(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.2点、「(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.1点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.2点であるため、目標は達成されたといえよう。「技能表現」については、「(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.1点、「(8) コミュニケーションや表現力を高めることができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の内容、方法に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DPでは、「思考判断」、「意欲関心」、「技能表現」の観点に関する到達度自己評価において、学生は概ね肯定的な評価をしている。また、ワークシートへの記入内容についても、回を重ねるごとに考察の深まりがみられた。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、主に事例を用いて、個人ワークやグループワークを行った。教材についても継続的に見直しを行い、授業内容に対する学生の理解度の向上に努めた。学生からの評価としては、「授業の質評価に関する項目」の全てにおいて「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価を得ることができたため、その取り組みは一定の成果があったと考える。また、今後も個別の質問への丁寧な対応やリアクションペーパーの活用等を通して、学習理解度を向上を図りたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標は達成できたと考える。また、継続的に教材やワークの内容や展開方法の見直しを行っているが、学生の反応や取り組み状況から一定の成果が得られてきていると思われる。次年度以降も受講生全体の学習理解度を高めることができるような方策を含め、授業の質的向上に努めていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教保育	1	後期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がないことを踏まえ、以下の3点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。</p> <p>①キリスト教と保育の関係性について明確にすること</p> <p>②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること</p> <p>③キリスト教学Ⅰで学んだ聖書の物語についてシナリオを作成し、実際に演じてみること。</p> <p>②③は学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した (4.2)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた (4.3)、④専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(4.2)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.5)、また、到達度自己評価の平均値4.2などからわかるように、教育目標はおおむね達成されたと言える</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、本学のユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値が4.1であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた(4.2)、職業選択の参考になった(4.0)からもわかるように、内容的に妥当であったと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「世界の子どもたち」や「聖書の劇」の調査・発表により、学生が参加する機会が作られていた(4.6)からもわかるように、講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられる。今後も、学生が協働学習に取り組むことができる機会を積極的に設けたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本学独自の科目であり、他大学の保育科との違いを明確に出す必要がある。科目に関心のない学生に対しても関心を引き起こすことができるよう「演劇」の手法を取り入れて、キリスト教保育の学びを展開している。
「世界のこどもたち」の学びは、学生の関心が集まるテーマである。キリスト教保育は日常生活では触れることのない広い世界に目をむけていく視点を含んでいるため、この点を活かしつつ、今後も学生たちの関心を汲み取りつつ展開していきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
在宅保育	2	後期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「認定ベビーシッター資格」取得のための必須科目です。「1 受講動機」の設問に対しての回答で「資格取得に必要である」を66.7%の受講生が選択しており、授業評価アンケートに回収してくれた受講生は、目的意識を持って受講してくれたことがわかります。しかし、今年度は、授業進行の1/3程進んだ時に、受講生の中で「この科目を取らなくてもいいらしい。金曜日のこの時間にわざわざ単位に関係しない選択科目を取らなくてもいい」というお話しが広まり、未だかつてない、9名の途中受講辞退者があらわれました。第1回目の授業の際、授業科目の内容及びカリキュラムマップでの位置づけの説明等行いましたが、理解してもらえていなかったと反省しています。しかし、途中、9名の辞退者が出ましたが、最後まで受講した学生達は、意欲的に学びを深めてくれました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目が最終学年最終学期であること、途中辞退者による選択科目によるマイナスイメージの噂話を鵜呑みにせず自分自身の意思で選択した科目であることから、最終受講生の科目に対する学習姿勢は非常に良好でした。演習も楽しく、かつ真剣に取り組んでおり、最終のレポートも小テストもよく学修された結果が顕著に表れていました。成績評価も秀52%・優27%であり、今までで一番よい成績でした。授業評価アンケート結果も、求める項目は全て平均値4.5-4.7、中央値5.0であり、学生の目標達成状況は良好であると評価します。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講生側からの授業評価アンケート「2 到達度自己評価」の(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3であり、中央値が5.0であったことは、少々意外な印象を持ちました。本科目は、受講生の感想から、「演習が楽しい」ものだと思っていましたが、以外にも「知識、新たな知見」を得る科目であると受講生が認識していたことに驚きました。本科目は、保育所保育をベースにした、家庭訪問での個別保育という少し特殊な内容であるため、受講生には「新しい知見」という手応えになったのだと分析します。DP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容の妥当性としましては、授業評価アンケート「2 到達度自己評価」の(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.4であり、中央値が5.0であり、どのDPの内容より高値であったことから内容的妥当性があると評価します。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

選択科目でもあるため、過度な課題は課さないよう努めています。授業時間内で、十分「身体で覚える、学ぶ」ことをしているため、授業評価アンケートの学習量や図書館利用の回答が低値であることは、想定内です。しかし、授業の記録は、ほぼ全ての受講生が、配布資料やノートに記述しているという回答があり、担当教員の意図をよく汲み取って受講してくれていたと感じました。最終講義時にとったコメントでは、それぞれに、講義内容を記憶できていることがわかり、今年度も印象に残る授業ができたのではないかと考えています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

途中辞退者が9名も出てしまったことは、初回オリエンテーションの説明不足か、受講生のニーズと乖離してしまったのか、次年度開講までに分析が必要であると考えています。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習(幼稚園)	2	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業直前の学生たちに対して、これまでの実習経験を生かし、保育実践に直接繋がる内容でシラバスを設定した。特に模擬授業について、今年度はペアでの実践では無く、学生個人で取り組めるようにした。模擬保育以外では、卒業生をゲストスピーカーに招いて一年目の働き方について学んだり、保育実践記録を分析するなど、保育現場で働くことを前提にした実践的な学びの機会とした。</p> <p>模擬保育はそれなりに教育効果が高かったといえる。自分の保育を振り返るだけでなく、他の学生の保育実践や学生同士での実践の振り返りの討議が学習への満足度を高めたとと思われる。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	やや達成された	やや達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートの回答結果では、全項目が4.0以上と総じて学生の満足度が高いという結果を得られた。</p> <p>一方で、例年に比べると学生の成績における平均得点は低い。</p> <p>欠席回数が目立つ学生も多く、最終課題や再試験課題が提出できなかった学生もいた。</p> <p>模擬保育はクラスを2つに分けたグループ単位で行った。授業内での発言や提出物からは、保育者や子ども役、観察者と複数の視点で保育についてとらえることができていたが、模擬保育を上手く進められなかったり、十分に意見を言うことができない学生も少なくなかった。</p> <p>また実践を分析したり、記録を作成する回などでも、意欲が高まらない学生の姿も見られた。</p> <p>こうした意欲関心・態度が十分に発揮できなかった学生の存在もあったため、DP3・4に関しては「やや達成された」の評価とした。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CPとの関連性やカリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当であり、卒業直前の学生が保育実践に生かすことのできる内容であると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

先述したが23年度は多くの学生が欠席回数が目立っており、学生自身がまず学習への意欲を高められるような課題設定が必要であることを実感した。例年、模擬保育においては各々の学生が「保育者役」だけでなく、「子ども役」「観察者役」の自覚を持ち、自己の当番回以外でも責任を果たすよう心がけていたが、今年度は役割があっても欠席する学生が各グループで散見された。模擬保育においても、準備不足が目立った。模擬保育の実践以前に、何のための「実践演習」なのか自己の学びを自覚できるような関わりが必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

模擬保育は学生にとって楽しい授業ではあるが、「楽しめない」学生もいる。そうした学生が学習へのモチベーションを持続けられるよう働きかける必要がある。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育実習指導	1～2	4期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は幼稚園教諭免許状取得のために必要である「教育実習」と関連した科目であることを学生も理解している。そのため、免許状取得を目指す学生は全員受講している。</p> <p>同実習関連科目である「保育実習指導」との関連性も考慮した上で講座を展開しており、入学時から全実習終了まで、さらには卒業後を意識したものとなっている。特に1年次は学外実習に出ることを鑑み、中学校・高等学校で経験した体験実習とは異なる保育者としての視点を持った子どもとのかわりができるように指導している。前期には附属幼稚園での「見学実習」において観察の仕方、記録のまとめ方、考察の仕方の基礎を学び、後期は実際に観察を中心としながらも手あそびや絵本の読み聞かせなどの部分保育、保育者としての視点を持ちながらの子どもとの関わりが持てるようになることを目指している。2年次は手作り教材の発表や短時間の指導計画を立てての実践、最終の実習では全日を実習生が担当する機会をなるべく持つなど、より保育者としての責任を持った実習を体験できるように指導している。授業では、これらの実習で少しでも学生が自己を発揮できるように、発表の機会や指導計画・日誌の添削、報告会実施による他者との学びの共有など、学生の学習準備性に合わせた授業計画を立てている。各実習終了時には個別の面談時間を設け、自己課題を克服できるように働きかけている。</p> <p>また、欠席した学生へは理由を考慮したうえで補講等を行い、必ず全授業内容を補完するようにしている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な評価は、平均点88.0点（最高点93点、最低点81点、A-24%、B-59%）である。実習訪問や実習園からの評価表においても、概ね高い評価を受けており、実習を重ねる毎に学生の課題が克服されているようである。本科目は2年間を通して開講されており、科目内での課題提出や教材研究の実践等学生の主体性が求められる。この結果から教育目標は概ね達成することができていると考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

幼稚園教諭免許状取得のための必須科目であり、実習に必要な計画を立てているため、学生の受講意欲は高いと考えられる。学習到達度の自己評価も4.5以上の得点を収めており、目的に沿った学びが深められている。また、DPを達成することができる様、他の科目との連携や学習の連続性を考慮しているため、内容的妥当性については問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、全体、2クラス制、1クラス制など講座内容によって取り入れており、特に学生からの指摘はない。実習前の実践発表では、個別の指導を中心に行っているが、学生からは他の学生の実践を観ることが学びにつながっていることも示されている。また、実習協力園との連絡会（当該学年は紙上での確認）について、協力園からの評価や本学の対応などを学生にも開示することで、実習に向けての心構えができるように促している。これらの経験が、学外実習に活かされていると考えられることから、今後も学生の理解度や習熟度を鑑みたくえで、授業の進め方を組み立てていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後も他の関連する実習との整合性や授業の進捗状況による学生の準備性を意識した授業を展開して行けるように取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅰ	1	通年	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育実習の指導を行うための科目であり、保育所の特徴や役割の理解を深めるとともに、保育技術や社会人としてのマナー等を含めた指導と助言を行っている。資格取得に必要な科目のため、受講意欲は高い。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均は92.3点 (S-25、A-5) である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。また、受講した学生のほとんどは、無事に実習を終えており、保育所の特徴や役割の理解を深めていることから、教育目標を達成していると考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容の妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは判断が難しいが、実習生に対する保育所からの評価から、概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教育実習指導や保育所実習指導Ⅱ・Ⅲとの連携を密にし、2年間を通して学生指導が行えるように内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から、実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つために、細やかな指導が行えるような授業展開を検討していく。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	2	通年	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育実習の指導を行うための科目であり、保育所の特徴や役割の理解を深めるとともに、保育技術や社会人としてのマナー等を含めた指導と助言を行っている。資格取得に必要な科目のため、受講意欲は高い。保育所実習指導Ⅰから引き続きの科目であり、実習が就職とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は89.6点（S-20、A-9、C-1）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。また、受講した学生のほとんどは、無事に実習を終えており、保育所の特徴や役割の理解を深めていることから、教育目標を達成していると考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容の妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは判断が難しいが、実習生に対する保育所からの評価から、概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教育実習指導や保育所実習指導Iとの連携を密にし、2年間を通して学生指導が行えるように内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から、実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つために、細やかな指導が行えるような授業展開を検討していく。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育実習の指導を行うための科目であり、保育所の特徴や役割の理解を深めるとともに、保育技術や社会人としてのマナー等を含めた指導と助言を行っている。資格取得に必要な科目のため、受講意欲は高い。保育所実習指導Ⅰから引き続きの科目であり、実習が就職とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均は93.8点 (S-20、A-1) である。ほとんどの学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。また、受講した学生のほとんどは、無事に実習を終えており、施設の特徴や役割の理解を深めていることから、教育目標を達成していると考えている。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容の妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは判断が難しいが、実習生に対する保育所からの評価から、概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教育実習指導や保育所実習指導Iとの連携を密にし、2年間を通して学生指導が行えるように内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から、実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つために、細やかな指導が行えるような授業展開を検討していく。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの保健	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「受講動機」は、95.2%の受講生が「資格取得に必要な科目である」と回答していることから、資格取得に必要な科目である認識はしっかりと持ってくれていることがわかります。また、シラバスの予習の欄には、前もって読んできて欲しい教科書のページ数を書いています。今年度の受講生は、例年よりも予習にも力を入れている印象を持っていましたが、授業評価アンケート結果でも、予習に関する項目の回答の数値がいつもに比べて高値に傾いています。受講生の学修への準備性が整っていたことが評価できます。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の成績は、秀16%・優23%・良26%・可19%・不可16%であった。不可であった5名は再試験を受験し、全員再試験で単位を取得しました。今年度の受講生は、ノートを工夫しながら作成している人が多く、授業で取り扱った内容以外の自己学習が例年に比べて多く、授業をきっかけとして学びを広げている学習者の姿勢としては素晴らしいことであると評価しています。授業評価アンケートも、知識の獲得の平均値が4.7、中央値が5.0と高値を示しており、本科目における目標達成度は達成といえるのではないかと考えています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、知識の獲得が主たる内容であり、授業評価アンケート「2 到達度自己評価」での一番高い項目が「(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(平均値4.7、中央値5.0)であったため、受講生もDP 1 知識理解に重点がおかれている科目であると認識してくれていると分析しています。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートのうち、「3. 授業の質評価」の各項目において、「(4) 授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」のみ平均値3.9、中央値4.0と低値でしたが、他の項目は平均値4.6、4.6、4.5、4.4、中央値全て5.0であったため、9割がレクチャー型授業である本科目では妥当な評価だと考えています。授業時間内にたくさんの質問を受ける時間はないのですが、今年度の受講生は、毎回のコメントシートに、多くの受講生が毎回授業の中で生じた素朴な疑問をたくさん記述してくれており、それに対して、次回授業時にコメントを書いてお渡ししていました。また、定期試験前の勉強会も複数名よく参加してくれ、授業時間外での学びも授業評価アンケートに反映されていたのではないかと推察しています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今年度の受講生は、コメントシートへの質問の記述が多く、よく考えながら授業を聞いていたことがわかります。受講生の素朴な疑問が生じた時に即答できる体制であれば、もっともっと学びを深めることができると思いますが、限られた授業時間数で膨大な内容をこなすため限界があり、もどかしさを感じてしまいます。次年度は、少しでも授業中に受講生達の素朴な疑問を取り上げることができるよう努めていきたいと思っています。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	糟須海 圭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養	2	通年	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機として必修科目であるが90.0%、資格取得に必要であるが67.5%、関心ある内容は30.0%であった。この「子どもの食と栄養」科目は、保育士資格を取得するにあたって大変重要な科目と捉えている。それは、心身の成長が著しい乳幼児期の保育に携わるためには、子どもの発達に応じた食を知っておく必要があり、学生らもそのように理解していると考えていた。しかし、受講動機としての関心度は3割と低かったことに驚いた。今年度初めて担当したため、学生らの実態が分かっていなかったが、次年度はこのことを踏まえた上で授業準備を行いたい。</p> <p>②初回授業時にはアンケートを実施し、学生らの気持ちや関心事を把握したい。</p> <p>③保育園勤務時の体験談や食育媒体の紹介を行うことで、保育園での食育の実際と大切さをイメージさせることは次年度も行う。</p> <p>④保育士として知っておいて欲しい調乳・離乳食・おやつ・弁当実習とジュースの実験は、次年度も行う。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85 (±8.6) であり、再試対象者は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達した者は44名であった。</p> <p>知識理解に関しては3回の小テストは回数を重ねる毎に上昇し、本試では88%の学生が8割以上の出来であった。</p> <p>技能表現は慣れない調理や食育プレゼンにおいて苦勞しており、達成度は知識理解と比較するとやや低いが、楽しそうな様子で班の学生らと協力し合っ実習や演習に臨んでいる姿が見受けられた。「楽しく学ぶことが出来た」、「保育園に勤務した時や、将来子どもを持った時に活かしたい」「（自分を産み育てた）母親の苦勞が分かった」「母親に感謝したい」等の記述が授業レポートに多く記載されていたことから、学生らの琴線に触れた内容だったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性
必修科目であり、内容的にも重要科目であるが、学生自身の関心度の低さがあるため、動機付けの工夫が必要である。

②DP、行動目標からの内容的妥当性
知識面の達成度は高い反面、技能表現の達成度は比較的やや低く、学校の調理実習だけでは技能向上に繋げるのは困難であるが、この授業をきっかけに調理の楽しさや手作りのおいしさを知ったことは、プラス効果はあったと考える。また、食への興味関心も高まった様子も見受けられた。

③まとめ
以上から内容妥当性に問題は無いと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価はいずれも4.0以上と高かったものの、これに甘んじることなく授業改善に取り組みたい。
学生の意見には、講義と実習を同時に出来たことで理解しやすかったとあったので、これは来年度もそのようにしたい。質問を受けた時は、真摯に応えることも同様に行いたい。また、学生が質問をしやすい雰囲気を醸し出すようにしたい。ただし、親近感をもって接した態度が誤解を受けないよう気を引き締めて臨みたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況として、知識面は達成できたが、技能表現は工夫が必要と考える。
知識面に関しては、今年度の内容を踏襲して、小テストを繰り返すことでの知識の定着を図り、本試に臨む。また2コマ続きの講義は集中力が途切れやすくなるため、適宜グループワークを用いたり、クラスルームを活用したりして授業のメリハリをつけたい。
技能表現に関しては、家庭での復習を視野に入れるなど何らかの方策を考えたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援の心理学	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格のための必修科目であることから、学生の受講動機は資格取得のためである。学生による自己評価「学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均は十分に高い得点であったことから、意欲を持って取り組んでいた様子が分かる。授業の内容としては、基本的な知識と現場でそれを応用するための事例を用いた学習とのバランスに配慮しながら、1年生にとっても理解しやすい内容になるように留意した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の成績の平均点も高く、多くの学生が授業の目標を十分に達成しているといえる。また、達成度自己評価の各項目の平均値も十分な値であり、学生自身も目標到達の手応えを感じているといえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生後期科目で、心理学的知識をもって子育て家庭を支援していくための科目である。「こども家庭支援論」などの福祉系科目と「教育相談とカウンセリング」といった心理学的な臨床実践に重点をおいた科目との橋渡しの役割を担っている。そのため、知識や考え方の基盤をつくることと、現場に即した学びの両方の要素が必要である。授業の構成としてもその点に留意している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生数が少なくなっていることから、課題への取り組みなど学生の様子を見ながら進めることができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の自己評価としても課題などに対する成績評価としても、十分な学習達成状況であった。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと人間関係	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>幼稚園教諭免許と保育士資格のための科目であるため、受講生の動機は、免許と資格の取得である。そのため、幼稚園教諭や保育士に必要な幼児期の人間関係について講義を行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>複数の提出物から受講生の成績を評価した。半数の学生がA以上を取得しており、学習成果を積み上げているものが多いと判断できる。また、授業評価アンケートの達成度自己評価は十分に高く、受講生自身も達成できたと感じていることがうかがえる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生後期科目であり、保育の5領域の1つである人間関係についての講義科目である。5領域の他の科目で講義する内容と照らして、過不足なくできるように配慮した。また、2年生で受講する「保育内容「人間関係」の指導法」の基礎になる科目であることから、講義科目でありながら実践につながるように配慮した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

8回講義であるため、短時間で学生のニーズを配慮し、モチベーションを高めるような働きかけをしなければならない点を難しく感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業の目標は、概ね達成できたと考えている。また、授業評価アンケートから多くの学生が達成できていると実感していた。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと表現	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>自分の声の特質を振り返り、幼児に届きやすい言葉の発し方を学び、図工的なこと、音楽的なこと、身体的なことを使って幼児の表現を促すことを学ぶ科目と位置付けた。幼児の表現を受け止め、自尊感情を育み、そうして幼児の表現を促す保育者としての基礎を学ぶことを重点にして、8回という限られた時間内で主体的な取り組みを促した。53%の学生が1回30分以上の復習をしたと回答しているが、発表の準備はほぼ全員の学生が家庭や空き時間で行っていたので、積極的な取り組みが行われていたと考える。自由記述では「とても楽しい授業だった」という感想が寄せられていた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価が「自分なりの目標を達成した」が、「まあまあ思う」「わりとそう思う」「かなりそう思う」が100%の学生の回答になっていたため、この科目の教育目標は、達成されたと考える。「幼児の表現の発達を促す要因について理解し、保育環境を考え、机上の学習にとどまらず実践する力につなげる」という達成目標は実際の絵本を使った表現遊び「ポンタのじどうはんばいき」を使って行い、主体的な学びを深めることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>幼稚園2種免許、保育士資格にとって必要な科目であるので、受講動機は明確であった。学生は幼児の表現の発達を理解しそれを土台にした保育実践を計画することができていたので、内容的には妥当であったと考えられる。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と考えた学生が「かなりそう思う」が53%、「割とそう思う」「まあまあそう思う」を合わせて47%の学生の回答を得たので、今後もこの授業で学んだことを実践の場で活かすことができると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「口頭・文書などの質問を受け付けそれに答える機会を設けていた」の項目に、「少しそうではないと思う」の回答が26人中1人いたので、反省している。できるだけ、答える時間を作っていたつもりではあったが、不十分な点があったと反省している。まとめの活動が1グループ10人近くになったところがあり、少し時間を合わせる難しさを感じさせてしまったので、グループの構成はもう少し少ない人数がよかったようである。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>表現活動は保育の現場で非常に重要なのでこれからも学生が積極的に取り組んでほしいと願っている。幼児の表現に共感し、幼児の心を育む保育士になってほしいということ伝えた。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「環境」の指導法	1	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格必修科目のため、受講動機にはそれが反映されている。</p> <p>②前期の「子どもと環境」を受け継いだ内容で、演習や実技を中心にシラバスを組み立てた。できるだけ学生の関心や好奇心を高めるよう、授業回毎の関連を意識的に持つようにした。実技にあたっては、事前の準備の必要性も説明しており、また振り返り学習をその都度行うようにした。特に、グループ毎の「模擬保育」では、指定された時間内にスムーズに進行できるよう、企画準備を行うよう指導を行った。</p> <p>③単元毎にプリント課題を課し、学習の振り返りとまとめができるように工夫した。プリントやレポートについては評価の対象となることを説明し、大切を守って提出するよう促した。</p> <p>④外の環境で行う演習は季節の良い時期にできるよう早めに設定した。模擬保育は企画や準備が十分にできるよう後半に設定し、振り返りのための内容もその後の授業計画に盛り込んだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終成績の平均は85.7点と非常に高い結果となり、再試験該当者は無かった。そのため、DP1の知識理解については「達成された」と捉えてよいと考える。</p> <p>授業内で課していた小レポートに関しては、単元毎に振り返りができるよう作成していたため、その都度の振り返りに関してはできていたと思われる。また「自分で調べて学びを深めた。Youtubeを見たりした」「学んだことを自宅でやってみた」「季節の植物を意識するようになった」等、自発的に振り返り学習をした学生の回答が多かった。小レポートに関しては意欲関心につながるよう設定していた。</p> <p>実技やグループワーク、特に模擬保育ではDP5の技能表現を達成するよう設定していた。振り返りレポートから、実技の授業は好評であり、楽しみながら学ぶことができていたと思われ、「達成された」と評価できる。</p> <p>以上、2つのDPの達成度から鑑みると全体を通しては「達成された」と評価したい。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、 「学習到達度の自己評価」、 「学習量の評価」、 「学修のための情報利用」、 「図書館、インターネット利用」、 自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CPでは「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けている。保育の5領域に関する内容を扱う科目であり、内容的に妥当であると考える。

DPでは「知識理解」「技能表現」を問うように設定している。演習科目であるため、学生の参加意欲をより引き出せるような工夫を行っていきたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方について、教室に限らず、屋外環境なども用いて授業を行ったりした。実技の授業は学生が楽しみながら学ぶことができ、また模擬保育では各グループに異なったテーマを与え、それぞれに内容やグループ内での役割を工夫して実施できていたこともあり、環境遊びの技能向上につながったと考える。参加意欲を十分に高めながら、授業が進行できたと思われる。振り返りの学習も個々人が十分に理解を深めることができていた。学生の自己評価も「知識を習得」「事象を理解する視点や考え方を得た」「学びを深めたい意欲」の項目において、全て4.3以上と非常に高い結果となり、自由記述においても「楽しかったです」「いろいろな保育の方法があることが知れて面白かった」等、学ぶこと自体を楽しんだ学生のコメントが複数あり、教授者受講者共に非常に手応えのある授業となった。

評価基準に関して、プリントや期末レポートの評価を明示し、学生が達成度を自覚できるようにしていた。そのため「授業の質評価」において、評価基準、課題内容の明確さについて両方とも4.4と高得点の結果を得た。

予習復習に関してはほとんどの学生が、配布した課題プリントを行うことで十分だと考えていたようだが、実際には模擬保育等では事前準備や下調べも含めて学課外に行っており、そのことはあまりアンケートには反映されていない。一方で、先述したように授業内で触れた項目に関して「気になったことを自分で調べた」等の記述もあり、自発的に学習を進めた学生が何人もいたことが分かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

保育の5領域に関わる内容であり、より具体的に体験的に学ぶ授業だと考えている。

これからも「環境」のとらえ方について様々な視点を持ち、日常的に保育環境への関心を持てるような教材の提供をしなければならないと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「言葉」の指導法	1	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、幼稚園教諭・保育士資格取得に必要な科目であるため、免許・資格を希望する学生は全員受講している。また、認定絵本士養成講座の関連科目でもある。本科目は保育の5領域のうちの一つであるため、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などに則って授業を展開した。また、子どもの言葉の発達の重要な要素である「ことばのやり取り」を通したコミュニケーションの一つとして、言葉遊びや絵本の選書、取り扱い方等に触れ、学生が体験的に理解できるような授業内容を心がけた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な評価は87.3点（最高点100点）である。本科目は、定期試験を行わず、評価レポート及び複数のレポート以外の提出物等を評価の対象としていた。レポートに関しては、早めに課題を出した上でデータ収集の方法やレポートの書き方等を説明する時間を確保し、学生が内容の吟味を十分に行えるように配慮した。授業への取組や実践、提出物等も含め29.0%（9名）の学生がS評価を取得しており、全体的に平均点が高くなった。また到達度自己評価は平均点は4.1～4.5であった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。言葉や絵本といった比較的学生の関心の高い科目でもあるため、受講に関しては比較的前向きな学生が多い。レポートの内容は授業を概ね理解した上で、各自が調べて作成されており、内容については妥当性があると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

演習科目のため、講義と併せて実践的な演習を多く取り入れた。様々な児童文化財（紙芝居、絵本、ペープサート、パネルシアター、人形劇）は、講義で概論を理解した後に個人またはグループでの発表を行うことで、素材の意義を理解しながら取り扱いができるように配慮した。また、実習後は、実習で実践した読み聞かせなどを学生同士で語り合い、経験を振り返ることで自身の理解や学びを省察でき、他者の学びを自己の学びとしても捉えられるよう授業を行った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の「到達度自己評価」及び「授業の質評価」を見ると概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後も学生の興味・関心に基づいた教材の提示や授業・実習での経験・実践に基づいた講義を効果的に展開することを心がけたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「人間関係」の指導法	2	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、幼稚園教諭・保育士資格取得に必要な科目であるため、免許・資格を希望する学生は全員受講している。本科目は保育の5領域のうちの一つであるため、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などに則って授業を展開した。また、領域「人間関係」と他の領域との関連、保育者と子どもなど子どもを取り巻く人間関係の重要性とそれをつなぎ引き出していく保育者の関わりや援助について学びが深められるように配慮した。その際、多くの実践や学生が実習で体験した出来事などを取り上げ、自分事として事例を考察できるような機会を多く取り入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は85.03点（最高点100点、最低点60点、S-20、A-17、B-5、C-8）である。本科目は、定期試験を行わず、評価レポート及び複数のレポート以外の提出物等を評価の対象としていた。レポートに関しては、早めに課題を出した上でデータ収集の方法やレポートの書き方等を説明する時間を確保し、学生が内容の吟味を十分に行えるように配慮した。到達度自己評価は平均点は4.0～4.3であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。言葉や絵本といった比較的学生の関心の高い科目でもあるため、受講に関しては比較的前向きな学生が多い。レポートの内容は授業を概ね理解した上で、各自が調べて作成されており、内容については妥当性があると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

演習科目のため、グループワークを中心とした事例検討や実践的な演習を多く取り入れた。事例検討において、今後は個の保育者として向き合う場面も多いため、各自の保育観・子ども観に基づいた援助を考えることを大切にしながら、授業内では個人発表への抵抗も高いことからグループワークでの対話を大切にすることに心がけた。本科目はすべての実習を終えた後の科目であるため、実習で体験した事例を他の学生と共有し、自身や他者の経験を俯瞰して見ることで改めて自身の学びを省察でき、他者の学びを自己の学びとしても捉えられるよう授業を行った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の「到達度自己評価」及び「授業の質評価」を見ると概ね授業の目標は達成できたと考えられる。しかしながら、今年度初めて担当した科目のため、学生の理解度等に合わせた授業内容について、再度吟味し、次年度に活かしたい。また今後も学生の興味・関心に基づいた教材の提示や授業・実習での経験・実践に基づいた講義を効果的に展開することを心がけたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育方法とメディア	2	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職必修の授業科目のため、幼稚園教諭免許を希望する学生は全員が履修した。</p> <p>②保育・教育の方法を理解し、保育に関する技術が習得できるよう授業計画を組み立てた。もう一人の授業担当者とは授業内容について、明確に分担を行った。もう一人の担当者には、PCを用いた記録の取り方、正しいメディアリテラシーの理解、生成AIについての理解と実技等メディアを活用する上での技術修得に特化した内容での授業、本担当者は保育・教育の方法、メディア接触と子どもの発達、子育てや保育現場におけるメディア活用について学ぶ内容を担当した。</p> <p>③アクティブラーニングを意識し、課題の発表、グループディベート、グループ発表等を積極的に取り入れた。学生自身がおかれているメディア環境や接触体験を活かせるテーマを設定し、身近な課題としてとらえられるよう授業を進めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終成績の平均値は66.2、再試験該当者は無し。平均点は昨年度までの「保育メディア演習」と比較すると10ポイント近く落ちている。一方で、再試験該当者はいなかったことから、DP1の知識理解は「やや達成された」と評価できる。</p> <p>また、授業内小レポートを8回中6回課し、それらの小レポートやディベートや発表の内容から「メディアとの付き合い方を考えていく態度」が養われたことがうかがえた。一方で、毎回の授業においては欠席回数が目立つ学生も散見され、小レポート等の課題も一部未提出という学生が多数いた。学生の到達度自己評価においても平均3.9と4.0を超えない結果となり十分に到達できた学生と、欠席も多く十分な到達を得られなかった学生もいることを鑑み、DP4の態度に関しても「やや達成された」と評価した。</p> <p>以上の結果から、全体を通して「やや達成された」と評価したい。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はCPにおいて「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付く科目の一つである。保育の方法に関わる内容であり、様々な保育の方法があることを知り、卒業を控えた学生たちが今後どのような方法をとるべきかを熟考する内容であるため、妥当であると考えている。

DPに関して、今後、子どもとメディアを巡る環境はますます変わっていくものと考えられる。卒業後も継続的に関心を持ち、常に問うていける姿勢を持ち続けるためには「思考判断」や「意欲関心」を高められる内容も盛り込んでいく必要があると思われる。今回の授業内容では、DPの位置づけは妥当であったが、これからの授業展開として課題としていきたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生からの授業の質評価は平均4.0であり、高い結果を得られた。授業内課題以外にも、自分なりに調べたり、まとめたりした等の自己学習を深めた学生もおり、学生によっては十分に学習の関心を引き出せたのでは無いと思われる。

担当教員への意見として、PCの課題についてわかりにくかったとの意見があった。PCの操作については、技術の個人差があるため、次年度以降は「分からない」と感じる学生に合わせた平易な説明や課題設定を心がけるようにする。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

メディア環境との関わりを、子育てや保育を通して自分なりに考え使っていく態度を養うことができたと評価できる。次年度も教育・保育現場でのメディア環境の変化に追随できる授業内容を構築し、より理解を深められるようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの健康と安全	2	後期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目です。授業評価アンケートの「1.受講動機」では、「必修科目である」と回答した受講生は92.3%、「資格取得に必要である」と回答した受講生が74.4%であったため、本科目の位置づけをきちんと理解したうえで受講してくれたのではないかと考えています。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート「2. 到達度自己評価」のうち「自分なりの目標を達成した」は平均値が4.2であった。全体的にみると、「2. 到達度自己評価」は、平均値4.1-4.3、中央値4.0-5.0と例年に比べると少し低い印象を持ちます。成績評価は、秀66%、優22%、良10%、可2%であり、1人も不可になることがありませんでした。授業評価アンケートの「自分なりの目標を達成した」感覚と実際にシラバスに示した評価方法での評価には乖離が見られ、受講生達には、学びの成果の割には満足感が得ることができなかったのではないかと反省しています。シラバス上での教員側の目標は「達成」と評価できますが、受講生の学びの満足感からは少し足りないのだと解釈し、「やや達成された」と評価しました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、小児保健の基礎知識を修得する「子どもの保健」をベースとした実技科目であり、授業内容及びカリキュラムマップにおける位置づけは妥当であると評価します。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の最も重要な演習に「応急処置法（心肺蘇生法含む）」は昨年度に引き続き、本学保健福祉学部看護学科のご協力のもと、基礎看護領域の助手の1名にお手伝いいただき演習を行うことができました。今年度は昨年度の演習を踏まえ、1クラス2コマ続きで演習をおこない、ケガ等の応急処置法と心肺蘇生法を詳細に手技が学べるように配慮しました。また、実際の保育現場で遭遇するケースを事例としてロールプレイする機会を設け、学びを深めることができました。今年度も受講生の授業態度の真剣度や授業後の感想もいづれにもなく熱のこもったコメントが多く学びが大きかったことが示唆されました。毎回、私一人で演習の手技指導を担っていますが、助手がいることでこのように受講生の真剣度も違うことを今年度も実感し、実技演習の人員配置の乏しさを解消できない虚しさを感じました。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目が手技指導を中心とした演習科目であるため、細やかな指導ができるか否かが授業に対する満足度と学生自身が感じる高い目標達成感につながるとひしひしと感じるところです。今年度は、学生数などの関係上、全クラス単位の開講となるため、演習内容によっては演習ができない実情がなかなか理解してもらえず、時間割変更がスムーズにさせてもらえず、困りました。授業の特性をもう少し理解していただき、あくまでも受講生の学びの成果を第一とした対応をして欲しいと切に願います。その中であって、今年度は、看護学科のお手伝いが基礎看護領域であったため、実習室や物品の借用が可能となり、どうにかこなすことができました。本科目の内容は、子どもの命に直結する大切な内容と認識しています。そのため、内容の妥協は許せないところがあります。少なくとも、今後も、指導については、さらに現状に即した方法を工夫しながら、できる限り今までの水準を維持できるように努めていきたいと思っております。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども音楽療育概論	1	後期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートへの回答が5名と少なく、この回答のみで判断することが難しいが、資格習得（こども音楽療育士）と「関心がある」が受講理由だったので学習準備性は整っていたと考えられる。ただ障がいのある人に接したことのある学生は極めて少なかったため、本講座において、障がい児という概念の説明が多くなってしまった。音楽を通して障がいのある子どもとのかかわりを考える音楽療育という分野ではあるが、日常的にも障がい者の困り感に寄り添い、世の中の流れに関心を持つ態度を養ってほしいという姿勢で授業を構成した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価は20%が自分なりの目標を達成したに「かなりそう思う」と回答しているが残りの学生は「まあまあそう思う」と「わりにそう思う」とどまった。前年度と同様に授業の中ごろで個人面談を行い、ノートを用意するや日々のニュースに関心をもって、保育の現在の置かれている問題点や障害者の困り感に関心と心を寄せるように指導した。活字媒体は出版される段階で校閲などの検証を受けているので、発信者が不明確なネット情報に惑わされない姿勢を持つように指導した。図書館の利用が少なかったため図書館内であえて授業をする機会を2回設けた。図書館の本を利用する姿勢が養われるきっかけになったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講に際してシラバスを参考にした学生は40%で、内容の吟味以前に資格習得に関心があったことがうかがえる。授業評価の結果を見るとあらかじめ授業の計画を立てて授業の開始に備えた学生は40パーセントでシラバスの活用を最初の段階でもっと学生に周知する必要があると感じた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

到達度自己評価の10項目がすべて「まあまあ思う」「割と思う」「かなり思う」という回答だったので概ね学生が理解できる授業内容であったと考える。学生の自由回答で「とても楽しかったという」回答があり、それは具体的に療育的な楽器を使ってコミュニケーションをとる方法や、絵本を使って「目」に注目する姿勢を促すことを授業の折々で実践していたことの表れだったと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

少しずつ、学生の気質が変化してきて、人前で実演したり、目立つような行為はしたくないという風になってきて、消極的になってきているように感じている。保育士という仕事の性格上、人の前に立つことは避けて通れないのだが、そのことが払しょくされるような、講義中もお互いに意見を述べ合う好ましい雰囲気がつくれるように努めた。日常の保育の中で、障がいのある子ども、そうでない子ども、音楽の力を使って人間関係を築く場面を設定できる「こども音楽療育」という分野を、より積極的に学んでほしいという思いを伝えた。障がいの多様性を知り、どの子どもも園生活が過ごしやすくなるように援助を行うことが、次につながる「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」への橋渡しになるので、音楽の持つ様々な力や、五感の中の「聴く力」というものに理解を深めることの大切さを伝えた。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものためのピアノⅡ	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>前学期に開講した「子どものためのピアノⅠ」から継続して段階的に演奏技能を習得していく科目であるため、本科目でピアノ演奏技能の習得を更に深めていくことができるよう、前期終了時に自主課題を提示することで夏季休暇中に予習復習ができるよう促した。</p> <p>個々のレベルに応じてピアノの演奏技能を習得していくことのできるよう、非常勤助手を含めた教員6名で各グループをつくり個人レッスンの形態をとっている。また、科目担当者の方では全学生の進捗を把握するために毎回少人数ごとに中間発表とグループレッスンを行うことで、発表の場を設けるだけでなく、学生からの質問を受ける機会を設けている。</p> <p>入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、前期で履修した「子どものためのピアノⅠ」での課題の進捗状況をもとに、グループ内の個々のレベルを均等に分け、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は75.5点であった。（S-3人、A-8人、B-10人、C-2人、D-7人）。本科目は保育において必要なピアノの演奏技能を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等の経験の異なりや、前期で履修した「子どものためのピアノⅠ」において習得した課題に応じて、本科目における個々の目標にばらつきはあるものの、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.4、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.4となっており、保育者として必要な演奏技能を身につけるために個々のペースで取り組むことができている、技能表現に関する目標についてはやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（選択）、保育士資格（選択）の科目である。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DP に関しても「到達度自己評価」の「技能表現」において、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。以上のことにより、内容的妥当性に問題ないと考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

個人レッスンとは別に15回授業の中で3回ずつ中間発表とグループレッスンの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。

発表やグループレッスンを通して技能の向上や課題に対する意識を高めるだけでなく、他者の演奏を聴き客観的な視点から保育現場での演奏について考え、音楽を他者と共有することで気付きを得る時間となるよう進めた。しかし、授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」への回答に対し「そうではないと思う」の項目に4名回答している。昨年度までは全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を全学生が回答している項目である。3回の発表を除いた12回の授業は個人レッスンで進めていることもあり、今回このような回答になっているのではないかと考える。発表を行う目的と個人レッスンの必要性についてはオリエンテーションで説明しているが、より丁寧に伝えることで学生が理解をして発表の場にのぞむことができるよう心がけていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況や、自己評価の技能・表現における結果から、概ね授業の目標は達成できたと考える。次年度では上記の授業の進め方を改善することで、学生がより意欲的に学ぶことができるよう授業環境を整えていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どものうたと伴奏法Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>前学期と同様に個々のレベルに応じてピアノの演奏技能を習得していくことのできるよう、非常勤助手を含めた教員6名のもと各グループをつくり個人レッスンの形態をとっている。また、科目担当者の方では全学生の進捗を把握するために毎回少人数ごとに中間発表とグループレッスンを行うことで、発表の場を設けるだけでなく、学生からの質問の機会を設けている。</p> <p>また、グループで偏りがでないよう、入学前の学生のこれまでの音楽経験や1年次開講「こどものためのピアノⅠ・Ⅱ」2年次前期開講「こどものうたと伴奏法Ⅰ」での課題の進捗状況をもとにグループ内のレベルを均等に分け、どの学生も同じ環境でレッスンが受けられるよう配慮している。</p> <p>課題内容については学生が保育現場で活用できるよう、学生の進捗に合わせて簡易伴奏にアレンジする方法を教授し、就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内や授業外でも対応した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は74点であった。（S-0人、A-10人、B-7人、C-5人、D-5人、E-7人）</p> <p>本科目は保育において必要なピアノ演奏技能を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。</p> <p>授業評価では、「全般的評価」が平均4.3となっており、また「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」についても平均4.4で全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答していることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、1年次開講の「こどものためのピアノⅠⅡ」、2年次開講「こどものうたと伴奏法ⅠⅡ」の計4単位のうち2単位は幼稚園教諭免許取得に必要な科目である。また、各自の実習先から提示されるピアノの課題曲や就職試験を受ける際のピアノ演奏課題への対策など、学生一人ひとりに応じた指導体制をとっている。そのため、学生の受講意欲も比較的高いと考えられる。

「到達度自己評価」の「技能表現」においても、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答していることから、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

個人レッスンとは別に少人数での中間発表とグループレッスンの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けている。また、こうした発表を通して技能の習得や課題に対する意識を高めるだけでなく、他者の演奏を聴き、客観的な視点から保育現場での演奏について考え、気づきを得る時間となるよう進めた。

しかし、授業の質評価では(4)(5)の項目において「少しそうではないと思う」の回答が1名みられた。中間発表とグループレッスンは15回授業のうち1人3回ずつしか行われず、それ以外は個人レッスンの時間となる。昨年度までは3回全て欠席する学生はみられなかったが、今年度はこの発表を3回とも欠席する学生が複数みられたためこのような結果が出ていると考える。

中間発表とグループレッスンを行う意義についてはオリエンテーションで話して伝えているが、学生がきちんと理解して望むことができるよう、これまで以上に丁寧に説明する必要があると考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。

次年度以降は全ての学生がより意欲的に学ぶことができるよう授業環境を整えていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものうたあそび	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格の取得に必要な科目であるため、受講動機においては「資格取得に必要である」が100%となっている。</p> <p>保育現場において、うたあそびは子どもの生活や遊びの中で多く親しまれており子どもの発達に重要な役割を担っている。しかし、学生の回答で「関心のある内容である」は39.1%と低い回答となっている。</p> <p>学生たちが「うたあそび」の役割を十分に理解し、表現豊かに歌唱する力を身につけることができるよう、双方向の授業を心がけグループワークを中心に展開した。また、座席を固定や自由席ではなく毎回変えることにより、学生同士がお互いの様々な表現に気付き、受け入れながらあそびを考え展開していくことができるように取り組んだ。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は87.2点であった（S-12人、A-18人、B-0人、C-0人、D-0人）。到達度自己評価における全般的評価の平均値は4.5、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」では平均値4.6となっており全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答していることから、目標は達成されたと考える。</p> <p>しかし、学習量の評価において、授業に向けての準備について0,1回と回答している学生が半数近くみられた。歌うことは日々の練習によって技術や表現力が深められていくものであり、授業で取り上げた曲以外にも発達段階に応じた様々な歌やあそびを探するなどして理解を深めていくことができるよう、今後はより具体的に予習・復習箇所を伝えていく必要があると考える。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門教育科目」の「保育内容の理解と方法」に位置付けられている科目であるため、全ての学生が資格取得を目指している。授業では大変積極的に取り組んでおり、受講に対する意欲の高さがみられた。

DPに関しても「到達度自己評価」の「技能表現」において、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。

また、「職業選択の参考になった」の平均値が4.4となっている点からみても、内容的妥当性に問題ないと考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の平均値が4.5となっており、全ての項目で「まあまあそうだと思う」を回答している。

本科目は実技科目であるため、評価基準や説明などが曖昧になりやすい。そのため、毎回の授業でグループワークを中心とした活動の前に、発声や基礎的技術を無理なく身に付けていくことができるよう、段階的に習得する独自のプリントを作成し課題として取り組むようにしたことも今回の結果になっていると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況や、自己評価の技能・表現における結果から、概ね授業の目標は達成できたと考える。

次年度では上記の内容を改善することで、学生がより力をつけて理解を深めてことができるようにしていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。一年を通して、他者と協働する力や短大生としての基礎的能力を高められるように授業を展開している。全体での活動では、認定絵本士に関連する講座として、ブックトークやおはなし会、図書館オリエンテーション、いのちのたび博物館外部講師による地域施設を知る講座などを展開し、ゼミごとの活動では保育に関連するさまざまな活動として、カプラの体験や喜久屋書店に関連しての看板作成や2年生おはなし会への参加などである。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均91.7点（最高点95点）である。全員がA評価であり、目標は達成されたと考えられる。「到達度自己評価」では、平均値が3.5～4.3の間であった。ゼミ毎の活動の時間も教員から授業の目的を伝えたと、学生自らが率先して活動内容を考えていくなど、学生自身がゼミを通して学びを深め意欲的に取り組んできたことがわかる。今後は活動内容を学外にも広げるなど、ゼミのあり方をさらに工夫することによって、さらに内容を深化できるのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は各科目で学んだことを意識しながら、保育に関する学びを深められるよう配置された科目である。「受講動機」に関しては必修科目であるためであるが、「到達度の自己評価」をみると、学生は各取り組みの中で求められていることを理解しながら課題を達成できたのではないだろうか。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、壁面看板の作成やコミュニケーションワークなど、学生同士が協同しながら進められる内容とした。そのため、ゼミ長・副ゼミ長を中心に取組が進められ、それに伴いゼミ生同士の学びあいが深められたようであった。授業の質評価は4.2~4.4であり、例年と同程度であった。次年度はより学生が相互に意見を出し合えるような働きかけをしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標が達成できたと考えられる。「評価」については、適切な範囲で学生が意識できるように説明し、次年度も学生自身が考え、主体的に参加できる授業になるように心掛けていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生と常に話し合いをした上で、毎回の授業の内容を決定していた。学外での学習を積極的に取り入れ、保育現場での園外保育に役立つよう「到津の森動物園」や「スペースラボ」に行き、指導員や専門家の指導を受ける機会も得られるようにした。加えて、できるだけ体験学習を多く取り入れるよう配慮した。身近な科学遊びや自然物を活用した工作で、直接保育現場で活かせる体験学習を積極的に取り入れた。</p> <p>また、実習前後の忙しい時期には実習に向けた指導案の準備や反省会等を行った。時にコミュニケーションゲームなどを適宜取り入れ、ゼミで学生が懇親を深められるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	8名中6名から回答を得た。ギリギリまで就職活動をしていた学生や欠席が目立つ学生もおり、ゼミ活動に十分注力できなかった学生の存在があった。そのため学生の自己評価「自分なりの目標を達成した」3.7と、一部の学生は十分な達成を得られていない状況である。ただし、それぞれの活動においては自発的に準備を行う姿もあり、活動へは意欲的に取り組んでいた。そのため、DP4は「達成された」と評価したい。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付いている。少人数の単位で、仲間意識を高めながら教員の指導の下で活動内容を企画し実施する内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDPに関しても、一年次に引き続いてより専門的な内容で体験できる機会が多くなり、DPについても妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

8名の学生がAクラス4名・Bクラス4名とバランスは良かったが、クラスごとの雰囲気の違いもあり、クラスを超えた懇親が十分に深まらなかった。ゼミ活動の中でコミュニケーションワークなどを取り入れたりしたが、活動中は仲良く楽しむ姿があっても活動以外ではあまり交流を深められなかった。進路や学生生活に悩む学生には個別に関わり、学習意欲を高めるような声かけや活動の設定も行った。教員と学生個々人とは関係性は深まったが、学生同士の関係性が深められなかったこと、それぞれの活動がゼミだけで終わってしまったことなどが課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

24年度は4名の学生が履修予定である。コンパクトなゼミ活動が可能であり、それぞれの学生の意見をくみ上げながら、学生同士の関係性が深まり、ゼミ以外でも学びが継続し、保育実践に繋がるような学習内容を行っていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学特別演習	2	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>幼児教育を指導する教師にとってファンタジーの概念の理解とその実践がきちんと習得されていなければ、真の教育者ではないといっても過言ではないほど重要な内容である。幼児の潜在意識と顕在意識に表れる感情の変化はそのまま成長の過程で見えてくるが、その前に教師がその変化を先取りしてどの様に幼児と向き合うか、それにはファンタジーの世界を理解することによって、幼児の成長にかなった指導が出来る。そのために、絵本はもとより、遊び等々、幼児の関心のあるものすべてのファンタジー性を解明し、分析していくなかなか骨の折れる研究をするものである。いわゆるゼミなので、学生、教師が一丸となって取り組んでいる。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生自ら考え、話し合い、図書館にて調べ、実習体験も併せて重ねん学びとなる。またファンタジーに関する映画をも鑑賞し、その意義を考え、幼児に与える効果を紐解きながら成長過程に大切な言葉がけをも、自身の問題とオーバーラップしながら考察している。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た妥当性については、非常に良かったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

改善策としては、もう少し移動範囲を広げて本学の附属幼稚園でのファンタジー絵本の紹介等々出来ればもっと楽しかったかもしれない。しかし、行事とコロナの関係で思いのほか、日程調整が難しかったことも事実である。チャンスを逃がさず向上していきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

ゼミとして、全ての学生がかなりの成長を持って卒業したことはうれしいことがらであった。今後の人生に役立ててほしいと思う。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるので学生は全員受講している。一年次の「子ども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均は90点 (S-4、A-4) である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であるため受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、自己評価の達成率も4.3ポイントであったので、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。また、図書館やインターネットの利用率が低かったため、積極的に利用するように促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。学生の意見がより反映できるように個別面談を行ったが、次年度は少人数制のゼミの良さをより生かせるように丁寧な指導を行っていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育に関連する学びの総合的な科目として位置付けられている。本ゼミでは、保育と福祉の関連や保育者に必要な福祉的視点を養うことなどに主眼をおいたゼミ活動を行っている。具体的な活動としては、福祉に関する知識的理解を高めるための講義、障害児向けのレクリエーション教材の作成、卒業生による職業理解講座、障害児施設の見学などを行った。また、学生が能動的に活動できるよう学生主体のゼミ運営を心掛けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、課題発表、授業への参加態度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均93.4点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.7点（かなりそうだと思う66.7%、わりにそうだと思う33.3%）であり、目標は達成されたと考える。「態度」については、「(9) 職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた」の平均値が4.5点であり、目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「総合演習」として、保育者・社会人としての人間形成を行ううえで基底をなす位置にあり、必修である。DPに関して、「学習達成度の自己評価」における態度を示す項目の平均値は4.5点である。

以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

ゼミでは、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会を提供している。学生が自らの興味・関心に基づきゼミ選択を行い活動に取り組んでいるためか、到達度自己評価の項目への評価は肯定的である。また、学生の主導性を高め主体的に考え行動できるよう、ゼミ運営の改善には継続的に取り組んでいる。1年間の活動を終えた学生からの感想として、「自分がリーダーシップを取れるか分からなかったが、みんなの協力もあり、充実したゼミ活動になった」「障害児施設の見学や卒業生からの話など、保育の仕事について理解を深めることができた」などの感想があり、学生の主体性を育むとともに保育者の職業理解を促す機会が提供できたのではないかと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の評価結果から、本科目における学習目標は達成されたと考える。活動全体を通して、学生が互いに意見を出し合い、積極的にゼミ活動に取り組んでいる様子が見てとれた。主体性や自律性は、保育者として必要となる基礎的能力の一つである。次年度も、保育者に必要となる能力を高めることができるよう意識的な取り組みを行っていくとともに、学生が主体的にゼミ運営に参加できるよう継続的に検討を加え、必要な改善を図ってきたい。